

# 力をあわせて。

「凡事徹底」。その学校の現状を打開するために、校長先生が打ち出されたのは「当たり前のことを懸命にする」という意味を表す、この四文字の言葉でした。

しかし、“あいさつをする”“くつをそろえる”といった「凡事」を、子どもたち全員に徹底するのは、至難の業でした。それを可能にしたもの。それは、先生方の「子どもたちの成長に寄り添いたい」「この学校をよりよくしたい」という思いにありました。

特別にすごい先生がいたわけではありません。校長のリーダーシップだけでもうまくはいかなかったでしょう。ただ、そこには、校門での朝のあいさつ運動や下足箱指導などに、可能な限り全員で取り組む先生方の姿がありました。

力をあわせる。

このことの尊さを、校長先生は、身をもって感じられたそうです。

人は力をあわせたとき、想像以上の力を発揮します。今、岡山県の教育は、飛躍に向けた助走期間の中にあります。だからこそ、家庭で、地域で、そして県全体で、「子どもたちのために」の思いをあわせていきましょう。できることから一つずつ始めることが、大きな飛躍を生むと信じています。



たけい ちくら

岡山県教育委員会教育長 竹井 千庫